

# 文化財防火デーって何？

こちら  
**119番**

- 消防テレガイド  
☎69-6141
- 在宅医テレガイド  
☎67-2828
- こちら119番  
消防本部通信指令室  
☎68-5119

昭和24年1月26日、奈良県斑鳩町にある法隆寺の金堂が火災に遭い、大切な文化財が焼けてしまいました。千年以上も昔から大切に守られてきた文化財が、一瞬にして灰になってしまったのです。

そこで、二度とこのような火災を起こさぬよう、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、多くの人に文化財を守り、大切にする心を養ってもらう運動を始め、今年で43回目を迎えます。本市でも、1月24日(金)の午前10時から勝善寺(坂本町)で消防訓練を実施し、地元の方々にも参加していただき通報訓練や初期消火訓練等を行います。現在市内に残っている文化財は、国・県・市によって指定された建物や仏像、絵画などが117件あります。これらの文化財は、私たちの歴史や文化を正しく理解するために欠くことのできないものばかりです。また、その



昨年の消防訓練風景

多くは、木や紙などのとても燃えやすい材質で作られています。1月から2月にかけては、一年を通して一番空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期です。火災は、長い間大切に守られてきた文化財はもちろん、文化財を愛してきた人の心までも奪いかねません。私たちの文化の礎となる文化財を、いまと同じ姿で残すためには、一人ひとりが文化財に親しみ、大切にする心をもつほかにありません。文化財の周りの皆さんや観光で訪れる人は、過去の悲しみを二度と繰り返さないためにも、火の元には十分注意し、文化財を守り続けたいものです。

# 図書館 だより

## 新刊書紹介

温泉は楽しい。もつと温泉に行こう。これが温泉主義の主張という。この本、いかにも主義と名乗られると固い本と思ってしまうが、実は大違い。とにかく、ひたすら名湯、秘湯を訪ね歩き、そこにあるすべてを存分に楽しもうとする主義者達が、足と肌と舌で確かめた、とっておきのレポートなのである。本書では、メンバーが精選した五十箇所余の温泉を紹介しているが、この中に蒲郡の温泉が含まれていて、読ませる一冊である。



『温泉主義への冒険』  
温泉主義ストーンズ  
編 三一書房刊

## おすすめの1冊

### 『松平三代の女』

作者 松平すゞ・語り書き  
桑原恭子・構成(風媒社)

徳川幕府瓦解で没落した尾張藩五千石の武家一家の女たちの軌跡を描いて居る。

將軍の側室から漁師のオカミサンになった人。その妹で姉に憧れて上京の途中、山賊にさらわれて妻に、抜けだして尼に、そしてマムシに、まれて死んだ人。

三人姉妹で父に芸妓に売られ、姉は見染められて結婚。妹は流れ流れてシンガポールで実弟に救い出されて日本に帰ってきた。その長姉で結婚して居たのに父に遊廓に売られ、苦勞の末に自力で織物会社を設立、成功した人。

筆者も父母の破婚の中、努力して女学校の先生に。自分勝手な小学校の教師を夫にした自分の生涯を淡々と語り、人智の到底及ばない、それぞれの波乱万丈の運命を綴って居る。



鹿島北読書会  
竹村茂子さん